

1-1 世界の地形 (p132~)

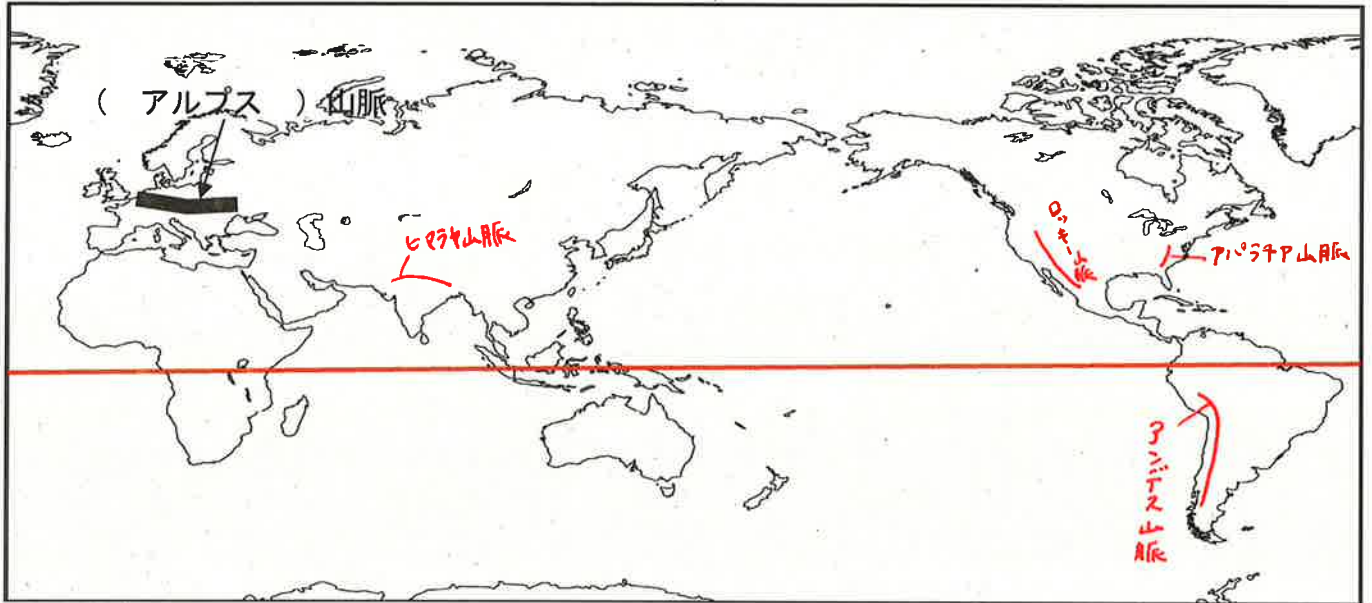
1-2 日本の山地・海岸と周辺の海 (P134~)

組 号 氏名

めあて: みんなが日本で地震が多い理由について、地図や資料を使って説明できる!

Mission 1 地図中に赤道を赤で引いた後、例にしたがって、以下の山脈を白地図の中に書き込もう。【作業】

ヒマラヤ山脈 ロッキー山脈 アンデス山脈 アパラチア山脈



Mission 2 AとBの造山帯の名称を書き入れ、「造山帯」と「地震や火山」の分布にはどのような関係があるのか。わかりやすく説明しよう。※資料『世界の主な火山・地震の分布』

●土地が沈んでいるようす

A	アルプス・ヒマラヤ	造山帯	B	環太平洋	造山帯
---	-----------	-----	---	------	-----

●土地がもり上がっているようす

資料から読み取ることができること

地震の震源地を表す●紫丸印は、造山帯がある場所にほとんど[含まれている・含まれていない]。

つまり、

日本は(環太平洋)造山帯に属し、火山や(地震)が多い不安定な地域に位置している。

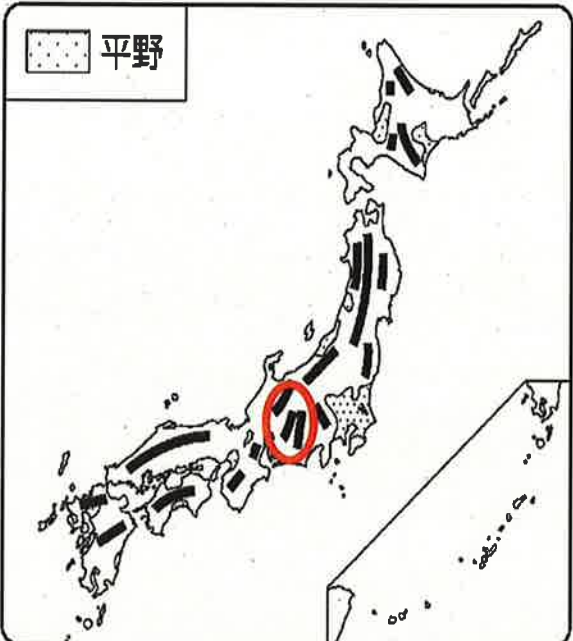
Mission3 日本列島の山地・山脈の様子を資料から読み取ろう！

- 1 右の資料から、日本の面積で山地と平野が占める割合はそれぞれ何%か？【読取】

山地[75 %], 平野[25 %]
 →日本の面積の[4分の3]が山地！

この資料から、日本は(山地・平野)より(山地) (平野) に人口が多くいることがわかる。

- 2 右の地図からも日本には山地や山脈が多いことが分かる。
 3000m級の山々からなる飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈の3つの山脈の場所を調べ、赤丸で囲もう！



- 3 この3つをまとめて何というか？【作図・調】

【赤】 日本アルプス

- 4 飛騨・木曾・赤石の3つの山脈の東側にある地盤の割れ目がずれ動いた状態である断層が集まった場所のことを何というか？

【赤】 フォッサマグナ

※教科書P134 資料②の赤斜線の場所のこと！

- 5 フォッサマグナを境目に日本の東側と西側で山地の並び方はどのように違うか？
 下の文章をまとめよう！【考】

教科書P134 資料②で
 西日本の中国山地や四国山地を見ると、[南北・東西] 方向に山地が並んでい
 るが、東日本の奥羽山脈や出羽山地をみると[南北・東西] 方向に山地が並ん
 でいて異なることが分かる。

まとめ

① 資料1のAに当てはまる造山帯の名前を書きなさい。
環太平洋 造山帯

② 資料1から読み取った2つの造山帯の特徴について次のようにまとめました。まとめの中のア、イにあてはまる語句をそれぞれ書きなさい。

まとめ【2つの造山帯の特徴について】
 資料1から、2つの造山帯の特徴として、(ア)の数が多いことや、(イ)という災害が多く発生していることを読み取ることができました。日本列島も造山帯の一部であることがわかりました。

ア 火山

イ 地震